

消防団のあゆみ

| | |
|--|---|
| 明治 27 年 6 月 19 日 | 桑名町消防組は県令の組織認可を受け発足 |
| 昭和 12 年 3 月 20 日 4 月 1 日 8 月 16 日 | 西桑名町と合併なる 市政施行により桑名市消防組の改善を行った 新組織による桑名市消防組が発足 陣容は組頭以下 330 名で、これを 6 部に分け、消防ポンプ自動車 7 台、手輓ガソリンポンプ 1 台、蒸気ポンプ 1 台、腕用ポンプ 10 台を配備 |
| 昭和 14 年 4 月 1 日 | 消防組を警防団に改革し、1 団 7 分団にて定員 600 名に増員 |
| 昭和 16 年 11 月 15 日 | 季節常備を配置 (11 月 15 日～翌年 4 月 15 日)、部員 7 名が桑名警察署内ポンプ詰所で交代に勤務 |
| 昭和 19 年 4 月 1 日 11 月 20 日 | 警防施設の充実強化の必要により定員 611 名とし、警防団季節常備部を警防団常備消防部とした 初代部長に平野義一が就任、部員は部長以下 11 名で消防ポンプ自動車 1 台であった 消防部に手輓ガソリンポンプ 1 台、オートバイ 3 台、鉄兜 11 個配備 |
| 昭和 20 年 4 月 1 日 | 桑名市消防団設置規則公布 |
| 昭和 22 年 1 月 10 日 5 月 1 日 9 月 12 日 12 月 23 日 | 第 5 分団上野車庫を桑名市大字上野町に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ² 消防団令が公布され警防団を廃止、早急に消防団の設置が必要なため、市議会において消防委員会条例を設定、指名推薦により委員を決定、条例の制定及び役員・団員の選任に任じた 委員 鵜飼新一郎・蛭川治三郎・加太信太郎・伊藤清次郎・水谷庄三郎・近藤清次・岩田勝郎・川北卯一・吉川実・平林儀三郎・佐藤信之助 特別消防委員 菱田宗之・辻一三・松本英三・笹岡五一郎・鈴木仁平・川本政一・大河内義次・大屋吉次郎・古川増一郎・伊藤治平 結団式を挙行し、消防団員の定員を 330 名とした 初代 団 長 岡川文一 副団長 加太信太郎・近藤清次 分団長 川北卯一・菱田宗之・古川増一郎・水谷庄三郎・辻一三・矢野三二・水谷吉松 法律第 226 号消防組織法の制定公布をみる 消防業務は警察から分離したが常備消防部が暫定的に消防業務を施行 |
| 昭和 23 年 3 月 28 日 6 月 26 日 7 月 2 日 | 第 7 分団車庫兼詰所を桑名市大字東方字堅縄 312 番地の 10 に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 94.22 m ² 第 2 分団車庫兼詰所を桑名市相生町 13 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 80.99 m ² 第 5 分団車庫兼詰所を桑名市三和町に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 114.05 m ² |
| 昭和 24 年 6 月 4 日 | 水防法が公布されるに及んで、桑名市を中心に外 8 ヶ村を水防管理団体の指定をみたので、消防団がその根幹となり態勢を整えた |
| 昭和 25 年 3 月 31 日 | 第 4 分団車庫兼詰所を桑名市大字赤須賀港町南に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 79.34 m ² |

| | |
|------------------------|---|
| 昭和 26 年 3 月 2 日 | 桑部・在良・七和 3 カ村合併により 10 カ分団 481 名となった 第 8 分団車庫を桑名市大字桑部字中貝戸 559 番地の 2 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ² 第 8 分団能部ポンプ車庫を桑名市大字能部字北貝戸に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 6.61 m ² 第 8 分団東金井ポンプ車庫を桑名市大字東金井に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ² 第 9 分団車庫を桑名市大字西別所字石曾根 980 番地に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ² |
| 4 月 1 日 | 第 3 分団車庫兼詰所を桑名市京町 38 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 84.71 m ² |
| 昭和 27 年 4 月 1 日 | 桑名市消防団設置規則第 6 号公布 第 1 分団車庫兼詰所を桑名市伝馬町 90 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 103.31 m ² |
| 昭和 28 年 3 月 31 日 | 第 2 分団車庫兼詰所を桑名市相生町 13 番地に移築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 80.99 m ² |
| 11 月 27 日 | 第 8 分団（桑部）・第 10 分団（七和）にそれぞれ三輪消防ポンプ自動車を購入配備 |
| 昭和 29 年 3 月 4 日 | 二代目消防団長が就任 |
| 4 月 1 日 | 消防団員の定員に一部改正案が起こり精鋭主義に重点を置くという見地から 10 カ分団 361 名に減員 |
| 11 月 1 日 | 第 9 分団（在良）の手輓ガソリンポンプを廃車して、三輪消防ポンプ自動車を購入配 備 |
| 昭和 30 年 2 月 1 日 | 深谷・久米両村の合併により三輪消防ポンプ自動車 1 台を引継ぎ、消防団の組織を 12 カ分団に改編し、定員 385 名に改正 |
| 4 月 1 日 | 消防団員の定員を 360 名に減員 |
| 昭和 31 年 1 月 14 日 | 第 4 分団に消防本部の消防ポンプ自動車を配備 |
| 2 月 1 日 | 第 11 分団車庫を桑名市大字下深谷部字堂ノ下 3635 番地の 2 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ² |
| 3 月 31 日 | 第 10 分団車庫兼詰所を桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ 139 番地の 5 に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 39.67 m ² |
| 9 月 1 日 | 城南村の合併により手輓ガソリンポンプ（自動車に積載）2 台を引継ぎ 13 カ分団とし て定員 410 名とした 第 13 分団車庫を桑名市大字安永字 11 区割 1860~1861 番地内に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 39.67 m ² |
| 12 月 14 日 | 第 2・第 6 分団に消防ポンプ自動車 B S - I 型 2 台を購入配備 |
| 昭和 32 年 2 月 11 日 | 日本消防協会から表彰旗を授与される |
| 6 月 21 日 | 三代目消防団長が就任 |
| 12 月 18 日 | 第 12 分団に三輪消防ポンプ自動車を購入配備 |
| 昭和 33 年 4 月 1 日 | 第 12 分団車庫を桑名市大字志知字加賀谷 3840 番地に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ² |
| 12 月 10 日 | 第 13 分団小貝須浜ポンプ車庫を桑名市大字小貝須字才兵衛縄 976 番地の 1 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 26.45 m ² |
| 昭和 36 年 12 月 | 第 7 分団に消防ポンプ自動車を購入配備 |
| 昭和 37 年 3 月 7 日 8 月 | 消防庁長官から竿頭綬を授与される 桑名市において三重県消防操法大会を開催（立教小学校）第 13 分団が出場 |

| | |
|-------------------------|--|
| 昭和 38 年 3 月 3 月 29 日 | 第 13 分団車（安永）を廃車し、消防署の消防ポンプ自動車を配備 第 4 分団車庫兼詰所を改築 |
| 12 月 1 日 | 消防署の消防ポンプ車 B S - I 型を消防団第 5 分団に配備 |
| 昭和 40 年 4 月 22 日 | 桑名市において第 17 回三重県消防大会開催（光風中学校） |
| 昭和 41 年 3 月 26 日 | 桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を公布 |
| 昭和 42 年 12 月 1 日 | 第 3 分団の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新 |
| 昭和 43 年 11 月 4 日 | 四代目消防団長が就任 |
| 昭和 44 年 5 月 7 日 | 第 13 分団（安永）車庫老朽のため、桑名市大字安永 11 区割 1890 番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 121.25 m ² |
| 12 月 26 日 | 第 4 分団車廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型を購入配備 |
| 昭和 46 年 7 月 2 日 | 第 13 分団車（浜）を廃車、第 13 分団車（安永）を配備し、消防署の消防ポンプ自動車 B S - I 型を第 13 分団（安永）に配備 |
| 11 月 26 日 | 第 1・8・9・10・11・12 分団車を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型 6 台を購入配備 |
| 昭和 47 年 8 月 4 日 | 木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 10 月 3 日 | 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 B D - I 型の寄贈を受け、第 13 分団（安永）に配備し、旧分団車を消防署に配備 |
| 11 月 18 日 | 第 8 分団車庫老朽のため桑名市大字桑部字中貝戸 559 番地の 2 に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 87.72 m ² |
| 12 月 1 日 | 第 2・3・6 分団車を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型 3 台を購入配備 第 13 分団車（浜）の代替車として、旧第 3 分団車を配備 |
| 昭和 48 年 11 月 7 日 | 第 9 分団車庫老朽のため、桑名市大字西別所字石曾根 980 番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 53.23 m ² |
| 昭和 49 年 5 月 21 日 | 桑名防火協会からトランシーバー 18 機の寄贈を受け、各消防分団に装備 |
| 11 月 6 日 | 第 4 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字 12 番組 86 番地の 20 に移転 ○木造 2 階建 ○建築延面積 83.14 m ² |
| 昭和 50 年 1 月 7 日 | 五代目消防団長が就任 |
| 昭和 52 年 12 月 24 日 | 第 13 分団車（浜）を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型を購入配備 |
| 昭和 53 年 3 月 24 日 | 第 6 分団詰所を桑名市大字東方城下 1307 番地の 1 に移転 ○木造平屋建 ○建築延面積 51.71 m ² |
| 7 月 21 日 | 木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 12 月 22 日 | 桑名市消防団指揮旗の制式及び使用内規を定めた |
| 昭和 54 年 12 月 23 日 | 第 7 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑名字北浜 628 番地の 1 に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 119.24 m ² |
| 12 月 24 日 | 第 7 分団車の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新 |
| 昭和 55 年 7 月 15 日 | 第 5 分団の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新 |
| 11 月 9 日 | 消防 100 年記念消防家族親睦運動会を実施 |
| 11 月 27 日 | 消防制度 100 年記念大会が東京・後楽園球場にて挙行、団幹部出席 |
| 昭和 56 年 3 月 25 日 | 第 13 分団（浜）ポンプ車庫兼水防倉庫老朽のため改築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 92.76 m ² |
| 3 月 26 日 | 桑名市消防団の設置等に関する条例を公布 桑名市消防団に関する規則を公布 桑名市消防団設置規則の全部を改正 |
| 10 月 16 日 | 第 4・第 5・第 6・第 8 分団に小型動力ポンプ（B - 3）4 台を購入配備 |
| 12 月 20 日 | 第 12 分団車庫老朽のため、桑名市大字志知字平群沢 3683 番地 4 に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.99 m ² |

| | |
|------------------|--|
| 昭和 57 年 7 月 20 日 | 昭和 57 年度木曾三川連合水防演習が岐阜羽島にて実施され、桑名市から第 8・第 9・第 10・第 11・第 12 分団が出場 |
| 9 月 16 日 | 第 9・第 10・第 11 分団に小型動力ポンプ (B-3) 3 台を購入配備 |
| 12 月 8 日 | 第 10 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ 1365 番地 1 に移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.99 m ² |
| 12 月 14 日 | 第 11 分団車庫老朽のため、桑名市大字下深谷部字長儘 4916 番地の 4 に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 106.62 m ² |
| 12 月 25 日 | 第 12 分団に小型動力ポンプ (B-3) を購入配備 |
| 昭和 58 年 6 月 14 日 | 桑名市において三重県消防団長会議を開催 |
| 8 月 26 日 | 第 1・第 2・第 3・第 13 (安永) 分団に小型動力ポンプ (B-3) 4 台を購入配備 |
| 12 月 3 日 | 第 4 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字 12 番組 85 番地の 1 に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 78.38 m ² |
| 12 月 7 日 | 第 5 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市新矢田一丁目 52 番地に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 115.74 m ² |
| 昭和 59 年 7 月 27 日 | 昭和 59 年度木曾三川連合水防演習が長島町において実施され、桑名市から第 8・第 9・第 10・第 12・第 13 分団が出場 |
| 10 月 10 日 | 第 7・第 13 (浜) 分団に小型動力ポンプ (B-3) 2 台を購入配備し、これにより小型動力ポンプは全分団への配備が完了 |
| 昭和 60 年 3 月 6 日 | 消防庁長官から表彰旗を授与される |
| 昭和 61 年 6 月 15 日 | 桑名郡市消防団幹部教養訓練を実施 |
| 昭和 62 年 3 月 24 日 | 六代目消防団長が就任 |
| 6 月 28 日 | 第 2 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 |
| 12 月 14 日 | 第 4 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 昭和 63 年 3 月 25 日 | 桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 第 6 分団地区 (大成・大和・大山田) の内、大山田を分割、消防団第 14 分団を設置、定員を 435 名とした |
| 6 月 12 日 | 第 3 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 |
| 10 月 13 日 | 第 8・第 12 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 第 14 分団に消防ポンプ自動車 CD-I 型及び小型動力ポンプ (B-3) を購入配備 |
| 12 月 7 日 | 第 14 分団車庫兼詰所を桑名市大山田一丁目 9 番地に新築 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.49 m ² |
| 平成元年 2 月 22 日 | 第 10 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 6 月 11 日 | 第 4 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 |
| 10 月 20 日 | 第 1 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 11 月 24 日 | 第 8 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑部 830 番地の 23 に移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.49 m ² |
| 12 月 1 日 | 七代目消防団長が就任 |
| 平成 2 年 2 月 14 日 | 日本消防協会から竿頭綬を授与される |
| 3 月 26 日 | 第 11 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 3 月 31 日 | 第 9 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 5 月 29 日 | 木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 10 月 1 日 | 消防団に関する規則の一部を改正し副団長を 1 名増員 |
| 11 月 20 日 | 第 2 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 |
| 12 月 6 日 | 第 2 分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 74.46 m ² |

| | |
|-------------|--|
| 平成3年3月29日 | 第3分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 11月27日 | 第6分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 12月11日 | 第3分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 74.46㎡ |
| 平成4年1月1日 | 桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 |
| 3月25日 | 第13分団（安永）の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 4月1日 | 桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 消防団に関する規則の一部を改正し副分団長の階級を定めた |
| 5月27日 | 木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 12月9日 | 第1分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 74.46㎡ |
| 平成5年3月25日 | 第13分団（浜）の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 11月18日 | 自治体消防45周年記念大会が東京ドームにて挙行、団長以下幹部出席 |
| 12月1日 | 八代目消防団長が就任 |
| 平成6年2月24日 | 第5分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 2月25日 | 第7分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 |
| 5月27日 | 木曾三川連合水防演習・岐阜県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 平成7年3月5日 | 新入団員研修会を実施 |
| 4月1日 | 自主防災指導部会を発足 |
| 平成8年4月1日 | 消防団活動研究会を発足 |
| 平成10年3月5日 | 第13分団（安永）車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 54.0㎡ |
| 3月7日 | 自治体消防50周年記念大会が東京武道館で挙行、団長以下幹部出席 |
| 3月23日 | 消防団に関する規則の一部を改正 |
| 4月1日 | 女性消防団を発足 |
| 5月24日 | 木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加 |
| 7月23日 | 三重県消防操法大会ポンプ車の部で第12分団が優勝 |
| 7月31日 | 日本消防協会から女性消防団に軽可搬ポンプの寄贈を受ける |
| 10月8日 | 横浜市内で開催された第16回全国消防操法大会に三重県代表として第12分団が出場 |
| 平成11年10月21日 | 横浜市内で開催された第14回全国婦人消防団操法大会に女性消防団が三重県代表として出場 |
| 平成12年5月28日 | 木曾三川連合水防演習に参加 |
| 7月1日 | 消防団に関する規則の一部を改正 |
| 7月12日 | 平成12年度三重県消防団長会議が開催され出席 |
| 11月2日 | 平成12年度三重県青年・女性消防団員研修会及び交流会が開催され講師として出席 |
| 平成14年3月15日 | 第6分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字北別所1156番地の5に移転新築完成 （竣工は平成14年4月4日） ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 91.80㎡ |
| 5月19日 | 多度町で開催された木曾三川合同水防演習に参加 |
| 7月27日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第10分団が出場 |
| 平成15年11月20日 | 東京ドームで開催された自治体消防55周年記念大会に参加 |
| 11月28日 | 第4分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 平成16年7月24日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第9分団が出場 |
| 9月13日 | 第8・12・14分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |

| | |
|------------------|---|
| | |
| 平成 16 年 12 月 6 日 | 桑名市・多度町・長島町の合併に伴い桑名市消防団・多度町消防団・長島町消防団を合併し、桑名方面団 14 分団・多度方面団 5 分団・長島方面団 6 分団（機動分団含む）で構成され定員 776 名とする桑名市消防団となり、初代団長に旧桑名市消防団長柴田清勝が就任した |
| 12 月 12 日 | 消防本部 2 階に女性消防団室を設置 |
| 平成 17 年 2 月 9 日 | 桑名方面団第 10 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 3 月 7 日 | 長島方面団第 4・5 分団の小型動力ポンプ付積載車を更新 |
| 10 月 12 日 | 桑名方面団第 1・9 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 平成 18 年 2 月 10 日 | 日本消防協会から特別表彰まといを授与される |
| 2 月 24 日 | 桑名方面団第 11 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第 1 分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 |
| 3 月 13 日 | 多度方面団第 1 分団車庫兼詰所、桑名市多度町小山 2361 番地 1 に新築完成 （竣工は平成 18 年 4 月 2 日） ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 91.80 m ² |
| 7 月 22 日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第 8 分団・長島方面団第 4 分団が出場（小型ポンプ操法で長島方面団第 4 分団優勝） |
| 10 月 13 日 | 桑名方面団第 2 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 桑名方面団第 3 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 平成 19 年 2 月 26 日 | 多度方面団第 2 分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 |
| 2 月 26 日 | 多度方面団第 2 分団車庫兼詰所、桑名市多度町下野代 1388 番地 1 に新築完成 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 91.80 m ² |
| 11 月 13 日 | 桑名方面団第 6 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 11 月 25 日 | 桑名方面団第 3 回桑名市消防団小型ポンプ操法大会を実施 |
| 平成 20 年 2 月 20 日 | 桑名方面団第 13 分団（安永）の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 |
| 7 月 19 日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団第 4 分団出場 |
| 平成 21 年 3 月 15 日 | 桑名方面団第 13 分団（浜）の消防ポンプ自動車を CD—I 型に更新 |
| 3 月 11 日 | 多度方面団第 3 分団車庫兼詰所、桑名市多度町力尾 2682 番地 1 に新築完成 （竣工は平成 21 年 3 月 22 日） ○鉄骨造 2 階建 ○建築面積 91.80 m ² |
| 3 月 22 日 | 多度方面団第 3 分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 |
| 平成 22 年 1 月 19 日 | 桑名方面団第 5 分団、第 7 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第 5 分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 |
| 3 月 5 日 | 多度方面団第 5 分団車庫兼詰所、桑名市多度町香取 2199 番地 29 に新築完成 （竣工は平成 22 年 3 月 20 日） ○鉄骨造 2 階建 ○建築面積 91.80 m ² |
| 7 月 25 日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第 7 分団が出場 |
| 平成 23 年 3 月 4 日 | 多度方面団第 4 分団車庫兼詰所、桑名市多度町古野 780 番地 9 に新築完成 （竣工は平成 23 年 3 月 20 日） ○鉄骨 2 階建 ○建築面積 91.80 m ² |
| 3 月 11 日 | 多度方面団第 4 分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 |
| 4 月 1 日 | 桑名市消防団 桑名・多度・長島方面団事務を消防本部に集約 |
| 4 月 17 日 | 桑名市消防団 3 方面団合同新人訓練開催 |
| 平成 24 年 5 月 27 日 | 岐阜県で開催された木曾三川連合水防演習に参加 |
| 7 月 21 日 | 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に長島方面団第 5 分団が出場 |

| | |
|--|--|
| | (小型ポンプ操法で3位入賞) |
| 平成25年2月26日 5月10日 | 日本消防協会から竿頭綬を受ける 団員全員にライフジャケット配備 |
| 平成25年10月22日 11月25日 | 桑名方面団第12分団車庫兼詰所、桑名市大字志知字平群沢3683番地4に新築完成 (竣工は平成25年11月2日) ○鉄骨造2階建 ○建築面積 91.80㎡ 東京ドームで開催された消防団120年・自治体消防65周年記念大会に参加 消防団長が内閣総理大臣賞を受賞 |
| 平成26年4月20日 5月18日 7月13日 8月1日 10月1日 10月3日 | 安全管理セミナー(消防基金)を実施 岐阜県で開催された木曾三川連合水防訓練に参加 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第6分団が出場 消防団サポート事業所 募集開始 消防団サポート事業を運用開始 日本消防協会から「消防団防災学習・災害活動車両(ハイエース)」の寄贈を受け、 桑名市消防団に配備 |
| 平成27年1月6日 3月27日 5月24日 11月9日 | 「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」(長島方面団第1分団配備)の無償使用を開始(総務省消防庁) 桑名方面団第9分団車庫兼詰所、桑名市大字増田604番地3に新築完成 (竣工は平成27年3月29日) ○鉄骨造2階建 ○建築面積91.80㎡ 団員全員に編上靴を配備 各分団に耐切創手袋を10双配備 |
| 平成28年4月1日 7月16日 | 長島方面団の組織改編に伴い機動分団を廃止し、第6分団を新設 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団が出場 |
| 平成29年5月28日 10月1日 | 新基準活動服を女性消防団から配布 桑名市学生消防団活動認証制度を運用開始 |
| 平成30年5月27日 6月4日 7月22日 10月19日 | 岐阜県で開催された木曾三川連合水防訓練に参加 桑名西ロータリークラブから「女性消防団車両・広報車(ハイゼット)」の寄贈を受け、 桑名市消防団に配備 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第5分団が出場 (ポンプ車操法で優勝) 富山県で開催された第26回全国消防操法大会に三重県代表として桑名方面団第5分団 が出場 (1番員市原誠が優秀選手賞を受賞) |
| 平成31年1月27日 4月1日 | 安全管理セミナー(消防基金)を実施 団員全員に耐切創性手袋を配備 二代目消防団長が就任 |
| 令和2年1月12日 4月1日 8月20日 11月26日 | 出初式において優良消防団員表彰を実施 休団制度を運用開始 トランシーバーを100台配備 ホワイトシャッタープロジェクト事業に参加し、消防団車両23台を登録 各分団に感染予防対策物資を配布 |
| 令和3年2月19日 | 「水災用器具、水難救助用器具及び安全装備品」(長島方面団第1分団、桑名方面 団第9分団配備)の無償使用を開始(総務省消防庁) |
| 令和4年3月15日 | 長島方面団に充電式投光器6セットを配備(消防基金) |

| | |
|----------|---|
| 令和4年4月1日 | 「非常勤消防団員の報酬等の基準」に従い、「団員」階級の者の年額報酬の増額及び出勤に応じた出勤報酬の創設 |
|----------|---|